

## 年頭所感 2007年

飯田市立病院 院長 千賀 脩



平成19年の新春を迎えるにあたりまして、皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年、冬季オリンピックで荒川静香選手が女子フィギュアスケートで金メダルを獲得し、野球のWBCでは日本が逆転優勝をかざり日本中が興奮しました。しかし、サッカーの世界カップでは惨敗し、世界とのレベルの差をまざまざとみせつけられました。また7月には記録的な大雨の影響で全国各地に地滑りが起き、またも異常気象と自然災害が日本列島を襲いました。また政府が教育基本法の改正を施行する中で、いじめの問題では多くの生徒が連鎖反動的に自殺し、さらには高校必修科目の未履修問題など、暗い事件の多い一年となってしまいました。

さて、新年にあたり昨年を振り返りながら今年の病院事業の方針を述べ、年頭の所感とさせていただきます。昨年は病院にとって

激動の1年でした。1月には飯伊地区の産科問題の解決策の一つとして、産科病棟の改修、分娩台の増設などを行いました。信大より産婦人科医師が1名増員され、また助産師外来の充実などにより、倍増した分娩に対して、あまり混乱なく対処することができました。次に、放射線に関する医療機器の充実があげられます。3月にはリニアック(放射線治療機器)を更新し、7月には南信地区ではじめてのPET-CTを導入しました。他地域の病院や診療所からの紹介も増加し、10月からはPET-CT検査もはじめました。

次に同月に新型救命救急センターの認可を受けました。十分な準備期間のないまま開始したので、いろいろまだ問題点もありますが少しずつ解決していくつもりです。

さて今年の最大の課題の1つとして、高松分院の今後の問題があります。高松分院は、医師不足や

経営の悪化等により今年3月をもって閉院することに決定しました。今後は、分院の建物を取り壊した跡に診療所を併設した100床規模の老健施設を建設し、現在の老健施設「ゆうゆう」を移転する予定です。

最後になりましたが、関係各位の皆様の深いご理解と、さらなるご支援をお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとって希望に満ちた明るい年となりますよう心から祈念して新年のご挨拶といたします。

### 飯田市立病院 基本理念

私たちは、地域の皆さんの健康と快適な生活を支える病院を目指します

### 飯田市立病院 基本方針

- 1 私たちは、患者さんの権利と意思を尊重し、地域の皆さんに信頼される医療を行ないます
- 2 私たちは、高度で良質、安全な医療を提供します
- 3 私たちは、中核病院として、地域の医療機関と密接に連携します
- 4 私たちは、教育・研修機能を高め、医療水準の向上と人間性豊かな医療人の育成に努めます
- 5 私たちは、公共性と経済性を考慮し、健全な経営に努めます

### 飯田市立病院 理念行動指針

私たちは、誠意・熱意・創意をもって患者さんに接します

# 救命救急センターを開設しました

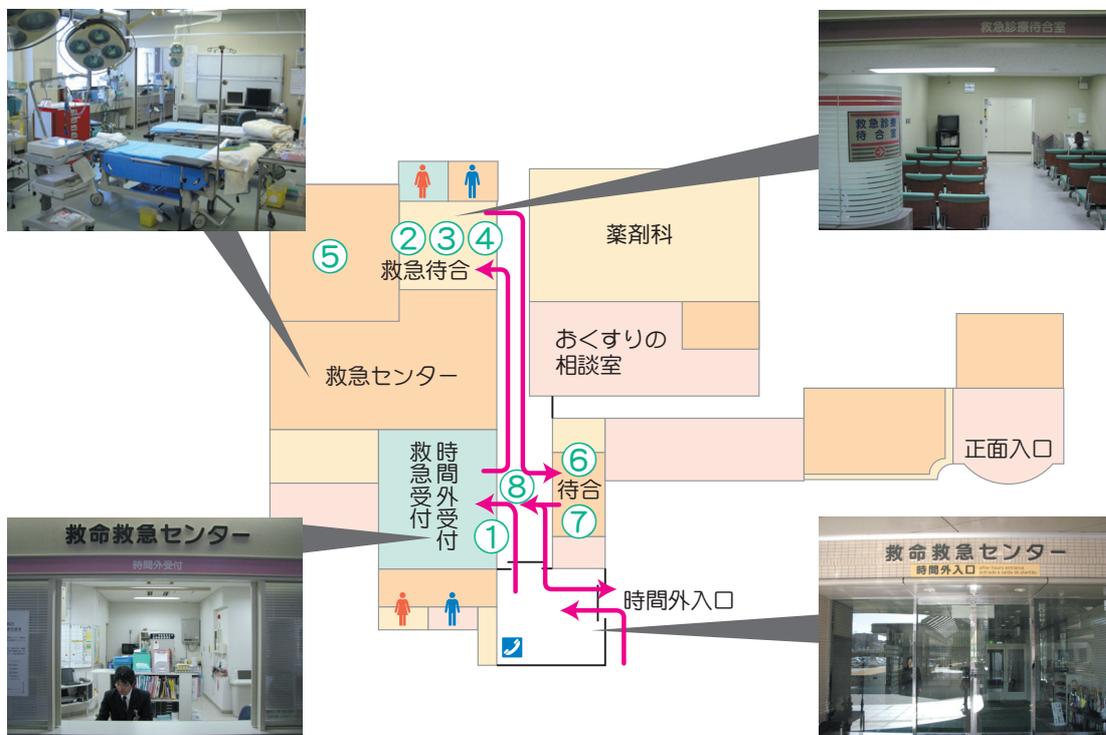
昨年10月1日付で長野県より救命救急センターとして認可を受けました。その目的は、厚生労働省により①重症および複数の診療科にわたるすべての重篤な救急患者に対し、高度な救急医療を24時間体制で提供できること、②医師、看護師、救急救命士に対する適切な臨床研修が可能であること、とされ、これまでの当院の取り組みが評価されたものと受け止めています。

入院対象は重症者ですが、一見軽症にみえても「致命的な状態になり得る」と判断されれば専用病床で厳重な監視と集中治療が行われます。このため、現行保険制度においては、一般入院に比べて高額な入院費が認められています。

外来での診察は緊急度を優先するため、必ずしも受付順とならないことがあります。また救急車での重症者が続く場合など、軽症の方は待ち時間が長くなる場合もあります。当院以外で治療できない重症者を最優先するため、軽症の場合はこれまでどおり当番病院を受診していただくよう、ご理解とご協力をお願い致します。

今後、医師・看護師の確保と地域医療者研修体制の充実が大きな課題ですが、救命救急センターが未永く存続できるように、地域の医療従事者のみならず住民の皆様の広いご支援をよろしくお願い申し上げます。

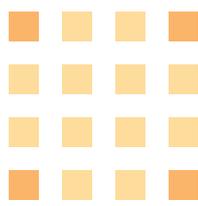
## 救命救急センターの受診方法



- ① 受付に保険証と診察券がある方はお出してください。受付後、問診表をお渡しします。
- ② 救急待合室で問診表を記入してください。
- ③ 看護師が問診表を受け取りに伺います。薬や薬の説明書をお持ちの方は一緒にお出してください。
- ④ 必要に応じて血圧・体温等を測定します。
- ⑤ お名前を呼ばれたら指定された診察室へお入りください。

- ⑥ 診察が終了したら受付窓口前の待合室でお待ちください。
- ⑦ お薬のある方は薬剤師が説明をしてお渡しします。
- ⑧ 会計ができましたら、受付窓口でお呼びします。

\*重症度・緊急度によりお待たせすることがあります。待っている間に具合が悪くなったら、看護師にお伝えください。



## 上手な 診察の 受け方

夜間、休日 に急に具合が悪くなった時、  
どうしたら良いでしょう。

当番医を捜すための問い合わせをします。

休日夜間テレホンセンター

☎0265-23-3636

長野県医療アンサーシステム

☎0120-890-422

\* 飯田市立病院で治療されている方は当院  
に御相談下さい。(☎0265-21-1255)

-----切りとってご利用ください。-----

### <電話で相談される時のポイント>

- ① 名前、生年月日、診察券をお持ちの方は患者番号
- ② 今現在の症状
  - \* いつから、身体のどこに、どのような症状があるのか、どのように変わってきたか
  - \* いつ、どこで、何をしていた「けが」をしたのか、傷の状態は
- ※ 「意識がない」「呼吸をしていない」ような場合は、まず先にこの情報をお話し下さい。
- ③ 現在治療中の病気、特別な薬を内服しているか又は医師から特別注意されていることがあるか
- ④ どのような手段で来院されるのか、病院への到着時間はいつごろか
- ※ 救急車の手配はご本人またはご家族でお願いします。

### <来院される時に必要なもの>

- ① 保険証、診察券、現在内服されている薬、薬の説明書
- ② 血を吐いたなど、言葉で説明するより見せた方が分かりやすいもの
- ③ 誤飲は、実際に飲んでしまったものと同じものがあれば、持参する。
- ④ 熱や症状の経過をメモしたものがあれば持参する。



### <受診するまでの救急処置>

- ① 切傷など出血している場合は、きれいなタオルで傷口を押さえ圧迫して下さい。
- ② 「やけど」は流水で冷やし皮膚を傷つけないようにきれいな布で被い、冷たいタオルや保冷剤等で冷やして下さい。

## 高松分院閉院と 新老健施設等の整備

高松分院は、

昭和21年に上郷  
村立国保直営診  
療所として開設  
以来、自治体立  
優良病院の表彰  
を受けるなど、  
地域医療をリー  
ドすると伴に地  
域の皆さまに信  
頼される病院を  
基本理念として  
歩んでまいりま  
した。

この度、医師  
不足をはじめと  
した医療を取り  
まく厳しい状況

や高松分院の抱える多くの  
課題を総合的に検討した結  
果、高松分院としては平成  
19年3月末をもって閉院し、  
新たに100床規模の介護  
老人保健施設と診療所を整  
備することにしました。新  
施設では、リハビリ機能を  
充実させ、介護予防や介護  
力向上など、保健、福祉、  
医療の分野が連携した取組



を進め、住みよい地域づく  
りを進める拠点施設にして  
まいりたいと考えています。



## 登録医紹介

登録医とは共同診療、検査機器の利用、研修参加などを一緒に行って、より良質な医療を地域の皆様に提供するため、協力いただいている医療機関です。

## 蟹江 医院

(飯田市上郷別府)



蟹江医院 院長 蟹江 孝之

## 患者さんのために

小児科医だった両親の病院が昭和20年3月の東京大空襲で焼失したため、両親は郷里の飯田に戻り、昭和21年に上郷村別府(当時)に診療所を開設しました。戦後の40年間、地域医療に尽くした母の後を継ぐため、私は昭和60年に東京から戻り現在に至っています。ただ、私は小児科の患者さんも診ますが、専門は内科、中でも循環器内科です。

飯田下伊那の広域な医療圏では、111の診療所が地域医療支援病院である「飯田市立病院」を中心に11の病院と緊密に連携し、地域の皆様に良質で安全な医療を提供するよう日夜努力しています。厚

労省や日本医師会の後押しで、飯田医師会も住民の皆さんに「かかりつけ医」を持つように呼びかけています。軽い病気や慢性の病気で治療方針が決まっている患者さんは、「かかりつけ医」のもとで治療し、診断が難しい疾患や高度の検査、治療を要する患者さんは病院がしっかり診るという機能分担をすすめています。

日常診療の中では、患者さんの家庭環境や、今までの病歴を頭において、その時々病状や治療方針を、患者さんが納得のいくように丁寧に説明することをモットーにしています。また、高度な検査や治療を要する時には、どこの病

院で検査や治療を受けるのがもっとも適当かを患者さんと共に考えるよう心がけています。



飯田医師会長としてご活躍中の蟹江先生とスタッフの皆様

所在地 〒395-0003 飯田市上郷別府3373

☎0265-22-1073

診療科目 内科、循環器科

診療時間 9:00~12:30、15:30~18:00

往診 有

休診 水曜日・日曜日・祝日

駐車場 有



**お申し込みのできる方**  
6ヶ月以内に当院または他の医療機関等で人間ドック(これに相当する検診を含みます)をお受けになつていらっしゃる方  
**お申し込み方法**  
当院人間ドック受付まで電話をしてください。その後来院いただき、検査の説明や検診日程を決めさせていただきます。この検診は人間ドックとは別の日に行ないます。

**PET-CT検診のお申し込みについて**  
PET-CT検診の併用をおすすめします。  
PET-CTは全身のがん検索手段として最も優れていますが、この検査だけで全てのがんを検出できるわけではありません。PET-CTのみでなく人間ドック等他の検診との併用をおすすめします。

**人間ドック等との併用が効果的です**

## PET-CT 検診のご案内

飯田市立病院では、最先端の医療機器であるPET-CTを利用した検診を始めました。早期がん等の発見のため、この検診をぜひお受けくださるようご案内いたします。



# 藤が丘内科

(高森町下市田)



## 患者さんに「安心」を

藤が丘内科 院長 後藤 晃

横浜の昭和大学藤が丘病院病理科医長を辞し、高森町に藤が丘内科を開設したときから“わたくしたちの目標”を掲げてまいりました。

心にして来たことは「夜中でも自宅にいるときは絶対に患者さんを断らない医療を実践すること」と「病診・診々連携で地域の病院・医院の先生に助けをいただくこと」で、これが患者さんに「安心」として受け入れられたと考えています。大学病院では病理学→内科学→病理学と勉強し特に心臓の病理を研究して来たことがとても役立っています。

現在も月に1回大学で病院病理科兼任講師として心臓病の研究が出来ること、上京の際に大学に紹

介同行した患者さんは28年間で延べ人数600人を超え、教授の診察に同席出来たことが私の卒後教育にとり大きな財産となっています。これからも大学に患者さんをお連れします。

患者さんに少しでも「安心」を与えられるように頑張ります。



後藤先生（前列左からお二人目）とスタッフの皆様

### わたくしたちの目標

- ◆患者さんに公正な医療を提供します。
  - ◆医師による説明と患者さんの選択に基づく医療をすすめます。
  - ◆患者さんのプライバシーを尊重します。
  - ◆診療情報を患者さん自身にお伝えします。
  - ◆より良い医療がおこなわれるよう研修・研鑽いたします。
  - ◆患者さんの人生が最後まで豊かであるようにその意志を尊重します。
- 以上のことをするために患者さんのご協力をお願いいたします。

所在地 〒395-3103 下伊那郡高森町下市田227

☎0265-35-3300

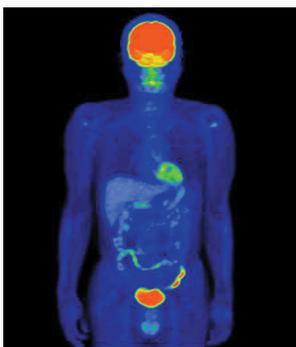
診療科目 内科、循環器科

診療時間 8:30~12:00、16:00~18:00

往診 有

休診 日曜日・祝日・第2水曜日（大学出張）

駐車場 有



☎0265-21-11255  
(内線2005)  
〒395-18502  
長野県飯田市八幡町438  
飯田市立病院  
人間ドック受付

### PET-CT検診のお問い合わせは

健康診断のために行なうPET-CT検診は保険適用ができませんので、全額受診者のご負担となります。なお検診で病気が発見された場合は、そのあとの治療費は保険適用となります。

PET-CT検診費用  
97,000円(税込)



昨年の世相を象徴する言葉は「命」でしたが、私はこの9年間に飯田市立病院で3回にわたって「命」を助けられました。

「命の境」から優秀な医師、看護師と優秀な医療機器などが「命の親」でした。

病気をしてみても一つしかない「命」の重み、大切さを痛感しました。

今回、私の体験3回の病歴をご紹介します。

第1回目は平成9年1月30日に悪性腫瘍直腸がんと診断され1月31日に入院し、2月13日手術が8時間かけて行なわれ肛門切除のため人工肛門が増設されました。この人工肛門は初めてであり最初は取り扱いに大変苦労しました。

この患者の集まりは「あすなろ会」といいます。現在42名の会員がいて年2回

の集会を行い体験事例の発表や相談会、懇親会を行います。会員はストーマの取り扱いや情報交換など非常に役立っています。

第2回目は平成9年5月19日急性胆嚢炎肥大による腸閉塞での緊急入院でした。

第3回目は昨年の8月7日に上行結腸癌で入院して8月9日に手術を行いました。このときには、私には何の自覚症状も無いのに外科の主治医が毎年の血液検査から貧血の異常を見つけ出血の原因を探り大腸に異常を発見、詳しく検査した結果上行結腸癌と判明しました。知らずにいれば癌が進んで危険な状態になるところでした。

主治医のおかげで「命の境」から「命の果報」になりました。おかげさまで9月10日に退院して現在通院治療中です。このように、3回の生死に係わる大病を乗り越えて現在、このように元気で居りますと、友人、知人、親戚の人などから「君は不死身だなあ」とよく言われます。3回も生死の境に居りながら何でこんなに元気でいられるのかと不思議がられます。実は「不死身」ではなく「命果報」(運よく命

がたすかること) だと思えます。

今回入院して感じたことは前回(9年)と今回(18年)では大きく違います。

手術検査の説明、全身麻酔の説明など非常に丁寧でわかり易く理解が出来ました。

また、どの医師も看護師も職員も全ての人が無駄なく真剣に働いていると感じました。

経営の合理化収益性の向上など色々ありますが、日夜を問わず「命」を護る勤務に對し敬意を表します。

安心と信頼のできる病院として心から感謝してご発展をお祈りします。

高森町 H・A



## 皆様の声にお答えします

**ファックスコーナー(院外処方箋取扱所)に案内人は二人はいないと思います。税金の無駄使いなのではないでしょうか。**

ファックスコーナーに配置されている案内人は、(社)飯田下伊那薬剤師会から派遣されている職員で、患者さんに不自由をおかけしないように配置されています。

お気軽にご利用ください。

### 診療が受付順でないのはなぜですか。

外来診察については、予約患者さんを優先するため、ご予約の無い方は後になってしまいます。ただし、お待ちいただいている間に容態が悪くなった場合は、看護師に申し出ていただくよう各科に掲示してあります。

中央受付では原則的には先の方から順番に受付をさせていただいておりますが、複数人で受付をしておりますので、若干前後することがあるものと思われれます。

また、会計は診療内容により処理時間の違いがあることから順番が前後することがあります。できるかぎり先の方から受付できるよう心がけていきますのでご理解とご協力をお願いいたします。



## 検査の窓

# 輸血について

貧血や手術の際の出血などにより、体内の血液が不足し、生命の維持が難しい場合の治療として「輸血」が行われます。血液は生体内でしか作ることができないため、健康な人の献血による血液を輸血します（同種血輸血）。また、手術日まで十分な時間的余裕があり、貧血がないなど条件に合う方には、患者さん自身の血液をあらかじめ採血して貯めておき、手術に備える場合もあります（自己血輸血）。

より安全に輸血を受けていただくために、事前に血液型検査や不規則抗体検査を行います。主な血液型には、ABO血液型（A、B、O、AB）とRh血液型（Rhプラス、Rhマイナス）があり、この組み合わせで血液型が決まります。日本人の約4割がA型、3割がO型、2割がB型、1割がAB型です。また、ほとんどの人がRhプラスで、Rhマイナスの人は約200人に1人といわれています。

輸血する血液と患者さんの血液を混ぜて反応が起きないか見る検査（交差適合試験）で、患者さんに適した血液を選び、安全な輸血に努めています。しかしながら、検査を万全にしても、ごくまれに輸血副作用やウイルス感染など、患者さんに不利益が生じてしまうことがあります。輸血を受けた患者さんは、3ヶ月後にウイルス感染症検査を受けることをお勧めしています。過去に輸血を受けたことがある等、心配がある方は医師にご相談ください。

## がんばらないけどあきらめない 12/15(金)

「がんばらない」という本の著者である鎌田實先生（諏訪中央病院 名誉院長）を講師に向かえ、ご本人が体験された患者さんとのふれあいや、「チェルノブイリ」、「イラク」での医療従事の様子を講演していただきました。

静かな口調でのお話は時には涙を誘う場面もあり出席した職員は真剣な表情で聞き入っていました。



## 健康講座

10/14(土)



「気になる脳の病気」と題して羽生憲直医師（飯田市立病院副院長）による講演会が開催されました。脳の仕組みや機能などの興味深いお話や、「こんな症状があったら要注意」としてわかりやすく具体的な内容でとても好評でした。

参加者からは「日頃不安に思っている事が解消できた」などの声をいただきました。



## おはなし音楽会 12/19(火)

テレビ、ラジオでおなじみの堀六平さんをお迎えして「なつかしいフォークソング」「ふるさとの童謡唱歌」などを楽しみました。「大きな声で歌いましょう」のかけ声に患者さんも一緒に口ずさんだり、堀さんの飾らない語り口に、ほのぼのとした気分となり楽しい一時を過ごすことができました。



## ヘリコプター夜間離着陸訓練 11/30(木) 12/4(月)

長野県警察航空隊の依頼により飯田市立病院のヘリポートを利用して離着陸訓練が行なわれました。これは、夜間における大規模災害、事故、山岳遭難救助等の人命救助活動に対応するものとして、特に着陸前の安全確保（障害物の有無）に重点が置かれていました。





## ご案内

病棟	日数	入院料（1日あたり）
救命救急ICU	1～7日	104,000円
	8～14日	88,900円
救命救急病棟	1～7日	90,000円
	8～14日	74,900円

\*自己負担額は、健康保険の負担割合（1～3割）によって計算されます。

**救命救急入院料の算定が  
はじまりました**

当院は平成18年10月1日付で救命救急センターの認可を受け、12月1日より救命救急入院料を算定することとなりました。入院料の詳細は左記のとおりです。検査、注射手技、処置の一部などは入院料に含まれますが、その他の診療行為（手術、リハビリ等）、食事、雑費につきましては別途請求が発生いたします。

### シリーズ ● 職場紹介 ● その13

#### 【4西病棟の紹介】

4西病棟は、小児科・NICU・耳鼻咽喉科・口腔外科・産婦人科を担当しています。

ここで、仕事の一部をご紹介します。小児科では子供が不安なく検温や処置を受けられるよう、遊びの要素を取り入れています。聴診器をおもちゃ代わりにし、怖くないものと知らせたり、手作りおもちゃを持参して楽しませたり、がんばった後には「ごほうびシール」を貼って喜んでもらったりと、子供が安心できるような関わりを工夫しています。

耳鼻咽喉科では、昨年度、患者さんの要望から喉頭摘出手術後の患者さん達の患者会（発声教室）を発足しました。今までは、発声の練習に、伊那まで通わなければならなかったため、当院に発声教室ができ「近くで発声の練習ができる」と喜んでいただけました。

患者会では、月に2回集まり、第2の声が発せられるよう練習に励んでいます。また、家族同伴での出席の方もおられ、アット

ホームな雰囲気の中、患者間・家族間の情報交換の場ともなっています。

それぞれのチームで、患者さんとのいろいろな活動を通し、患者さんから力をもらい日々の仕事に頑張っています。



### 編集後記

平成18年には、P E T I C T が導入され、救命救急センターが始まりました。次はがん拠点病院をめざしています。

ところで、日本全体の地方の病院では、医師、看護師などの人材不足が深刻さを増しています。そして飯田市立病院も例外ではありません。産婦人科を初めとして、人材の確保が行われ、利用者の方々が安心して医療を受けられる病院になります。

新しい年に、新しい対策を期待します。

【編集委員】 小林睦博

### 新任医師の紹介

平成18年10月12日



小児科  
**野田 俊輔**  
(のだ しゅんすけ)  
平成14年卒業  
平成18年10月1日着任  
前勤務病院  
長野県立こども病院